

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-820	15-139	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Association between alcohol consumption and Korean young women's bone health: a cross sectional study from the 2008 to 2011 Korea National Health and Nutrition Examination Survey. 若年韓国女性における飲酒と骨密度の関連 : 2008-2011 年韓国国民健康栄養調査の横断研究</p>		
執筆者		
Seo S, Chun S, Newell MA, Yun M.		
掲載誌		
BMJ Open. 2015 Oct 13;5(10):e007914. doi: 10.1136/bmjopen-2015-007914.		
キーワード		PMID
AUDIT (アルコール依存症のスクリーニングテスト)、疫学、公衆衛生		26463219
要 旨		
<p>目的 : 韓国人若年女性における Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT) (アルコール依存症スクリーニングテスト)のスコアおよび飲酒の量・頻度と骨密度との関連を明らかにすることを目的とした。</p> <p>方法 : 2008-2011 年韓国国民健康栄養調査における健康診断、栄養調査、健康インタビューデータを用いた横断研究により検討した。骨密度 (bone mineral density, BMD: 骨量 ÷ 面積 [g/cm²])測定を行った 21,303 名中、19~30 歳の女性 1,176 名を対象とした。大腿部 (total femur, TF)、大腿頸部 (femur neck, FN)および腰椎 (lumbar spine, LB)における骨密度の平均 T-score を飲酒と AUDIT スコア別に算出した。また、AUDIT スコアによる各部位別の低骨密度 (T-score <-1)のオッズ比を算出した。</p> <p>結果 : 飲酒量が多いこと、AUDIT スコアの高いことが低骨密度と関連した。すなわち、AUDIT スコアは TF (p=0.002)、FN (p=0.004)の骨密度 T-score と、飲酒の頻度 (p=0.029)および量 (p=0.039)は FN の骨密度 T-score と有意に関連した。AUDIT スコア 0~7 点と比較して、16~17 点 (オッズ比 4.31, 95%信頼区間 1.16-16.06)、20~40 点 (オッズ比 5.99, 95%信頼区間 1.69- 21.21)で低骨密度の調整オッズ比は高く、特に FN で顕著であった。なお、AUDIT スコア 0~7 点は飲酒が少ないあるいは飲まない、16~17 点は有害な飲酒、20~40 点はアルコール依存と評価される。中程度の飲酒はどの部位の骨密度とも関連しなかった。飲酒と骨密度との関連は FN において強かった。</p> <p>結論 : 韓国人若年女性において、飲酒が骨密度へ及ぼす影響についての意識づけが重要と考えられた。飲酒が骨に与える影響は複雑であり、長期間にわたり様々な因子の影響を蓄積していると考えられる。しかし、20 歳代の若い女性における、特に FN における検討が欠如しており、我々の研究結果を裏付けるような、より正確で妥当な研究が今後必要と考えられる。</p>		